

# 医療安全情報レポート Vol.49

働くみんなの医療安全

## 早期発見！迅速な対処！輸液の血管外漏出

輸液を投与中、血管外漏出に気づくのが遅れ、治療を要した事例が報告されています。投与している薬剤（抗がん剤など）によっては**周辺組織への影響がある**ため注意が必要です。

### 早期発見！

#### 観察のポイント

- ☐ 炎症徴候の有無  
（発赤、腫脹、熱感、硬結、水疱、疼痛、血管痛…など）
- ☐ 薬液が漏れて刺入部付近が濡れていないか
- ☐ 輸液ポンプから外し、自然滴下するか
- ☐ 逆血の有無
- ☐ 刺入部だけではなく腕全体はどうか
- ☐ 投与側の刺入部との左右差はあるか ……など



血管外漏出  
していても輸液  
ポンプのアラ  
ートは鳴りませ  
ん



薬液もれ・水疱

点滴の滴下を確認するときは  
ひとつひとつ目視で確認しよう

ボトルみて



点滴筒みて



ルートみて



クレンメ  
三方活栓みて



テープ固定みて



刺入部までみよう！

\\ **迅速な対処！** //

血管外漏出を発見したら、  
自施設のマニュアルに沿って速やかに対応しましょう